令和４年度

事　業　報　告

社会福祉法人　野田芽吹会

千葉県野田市下三ヶ尾８７５－１

令和４年度　障害者支援施設　野田芽吹学園　事業報告

当施設は、第一種社会福祉事業の障害者支援施設の経営（施設入所支援：定員５０名、生活介護事業：定員５０名）と第二種社会福祉事業の障害福祉サービス事業の経営（短期入所事業：定員６名）の事業を実施しました。平均入所年数が２１．９年となり、２０年以上入所されている方が２２名、３０年以上の方が２０名です。令和４年度は、体調を崩され、入院を経て退所または亡くなられた方などが多くいらっしゃいました。最高齢９３歳の利用者さんが療養施設に移行となり、全体の平均年齢が５２．１歳です。若干、平均年齢が若返りましたが、６５歳以上の利用者が６名、５０歳以上が２８名と年齢層は依然として高めです。女性に７０歳代の方が多く、体力や筋力の低下などに今後注意が必要です。全体の平均障害支援区分は５．７５です。

１　利用状況

（１）入退所状況：定員 50 名（令和４年４月から令和５年３月 31 日）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
男性	２６	２６	２６	２６	２６	２６	２６	２６	２５	２６	２６	２６
女性	２４	２４	２４	２４	２３	２４	２４	２４	２４	２４	２４	２４
合計	５０	５０	５０	５０	４９	５０	５０	５０	４９	５０	５０	５０
					１名退所	１名入所			１名退所	１名入所	１名退所 １名入所	

（２）利用者の障害支援区分（令和５年３月３１日現在　平均　）

野田芽吹学園		区分４	区分５	区分６	合計	重度加算
利用者の	男性利用者	０名	５名	２１名	２６名	１９名
障害支援区分	女性利用者	１名	２名	２２名	２４名	１９名

（３）短期入所（定員６名）利用状況

年度	延べ人数	延べ日数（１日平均）
令和４年度総合計	６２名	８９０日(２．４人)
令和３度度総合計	７６名	６７６日(１．９人)
令和２年度総合計	３７名	５００日（１．４人）

（6）　帰宅状況

令和４年度　　（令和３年度０人）（令和２年度１５人）（令和元年度６４人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※新型コロナウィルス感染対策のため、ご家族にご協力頂き、通院によるご自宅への外泊は控えて頂きました。外泊の代わりとして、自宅やご家族との通院などの日帰りの外出などは、感染状況に合わせて行なって頂きました。

2　職員の状況（異動状況を含む）※（　　）は非常勤数　　（単位：人）

職種		令和４年４月１日	年度内 退職・異動	年度内 採用・任用	令和５年３月３１日	令和５年４月１日
施設長		1	0	0	1	1
事務長		（1）	0	0	（1）	（1）
事務		1	0	0	1	1
看護師		1	0	0	1	1
栄養士		2	2	0	0	0
調理		1	1	0	0	0
サービス管責任者		1	0	0	1	1
生活支援員		２６	2	1	２５	２６
補助員（ﾊﾟｰﾄ）		（２０）	2	3	（２１）	（２２）
合計	全体	５１	7	4	４８	５０
	管理部門	２（１）	0	0	２（１）	２（１）
	常勤換算 支援員＋補助員	２６＋１１．６			２５＋１２．２	２６＋１２．９

（２）施設整備管理業務

施設設備の修理・工事	内　　容
施設設備の保守点検委託業務	エレベータ保守点検・汚水処理（ポンプ）・グリストラップ清掃・給水設備維持管理・水質検査業務・消防設備（ＳＰ）・給食設備点検
施設設備の管理業務	害虫駆除・産業廃棄物、一般廃棄物処理
施設会計業務	会計事務所委託

４　ボランティアの受入状況

（１）誕生会ボランティア（毎月保護者会時実施）

令和４年度の誕生会ボランティアの来園なし（コロナウィルスのため）

（２）その他のボランティア

令和４年度は「理容ボランティア」と「そば打ちボランティア」の方が来園されました（コロナウィルスのため）

５　実習生受入状況

期間	学校名	人数
５月１０日～５月２０日	埼玉東萌短期大学	４名
６月１日～６月１１日	彰英保育福祉専門学校	２名
６月１３日～６月２５日	川村学園女子大学	３名
７月２７日～８月８日	江戸川学園おおたかの森専門学校	２名
９月１日～９月７日、 １１月２７日～１２月３日	埼玉学園大学	２名
３月６日～３月１２日	千葉明徳短期大学	１名
３月１３日～３月２３日	越谷保育専門学校	４名
３月２５日～４月６日	共立女子大学	４名
合計		22名

この他、社会福祉士実習生を５回受け入れています。（実習期間１か月間）

③支援関係会議の開催

朝会（毎朝開催）	支援員・補助員が参加し、支援の統一や注意事項の確認を行いながら情報共有し、事故・トラブルがない日課を過ごせるよう配慮しました。
職員会議の開催	月間予定の周知と権利擁護、障がいの理解、リスクマネジメント研修、外部研修の伝達研修を行い、補助員会議でも報告を行い、スキルアップに努めました。
男性棟・女性棟会議の開催	支援の統一、課題の確認・変更・訂正を中心に話し合いが行われ、男女各棟で課題となっていること、変更したいことなどを話し合いました。全員参加が難しいため、書面参加で事前に意見を聞きくことで意見の交換をいました。 決定されたことは各棟内で共有し、支援の統一が図れるように努めました。
個別支援会議	毎月数名の利用者さんを対象とし、支援課長・サービス管理責任者、各責任者、各作業班主任・副主任、担当支援員、看護師等で計画書の内容の確認や直近の様子から変更が必要かどうかなどを検討する会議を実施しました。対応の難しい方への対応については、毎月行われる各棟の会議内で情報共有し、随時変更を行ないました。 また、行動障害のある方に対しては、支援手順書を作成し、その手順書に沿って支援を行いました。
管理者・責任者会議	管理者会議では、行政や福祉協会の情報や、法制度の変更等の情報共有と各事業所の近況報告を行いました。 責任者会議では、施設内の問題点や課題などのピックアップし、改善策の検討を行いました。
主任会議	現場の声を集約し、現場の中で支援方針を決めることでスピーディーな対応が出来るようになりました。

④施設内研修の開催

月　　日	内容	講師	参加者
４月１・５・６・７日（４日間）	新人研修	施設長・支援課長・看護師	新人職員
４月２７・２８日	リスクマネジメント研修（動画で状況共有） 法人理念・倫理綱領・行動規範確認	支援課長	職員・非常勤

・「広報委員会」は年３回定期的に広報紙の発行と保護者向けの学園通信の発行を行いました。
令和４年度も保護者会が１度も開催されなかったため、「学園通信」はご家族に学園の様子を発信するツールとして発信し、広報紙は施設での行事報告を中心に発信していきました。

・「物品管理委員会」は、おむつやトイレットペーパーなどの管理などを行いました。
特にコロナウィルス感染対策関連物品については、一定量の確保を維持できるように在庫の確認をこまめに行い、在庫切れを起こさないよう配慮しました。

・「環境委員会」は、環境報告を基に修繕・修理を迅速に対応しました。

・「健康・栄養委員会」は、利用者の健康管理を支援・医務・栄養の観点から分析し、各棟責任者や担当と連携して対応しました。特に集団感染後による体重減少と体力の復調には配慮しました。

・コロナウィルス感染対策については、手指消毒と職員のマスク着用の徹底を心がけました。

・「給食委員会」は利用者にも参加してもらい、希望メニューや手作りおやつを検討しました。

・特別委員会の「きりんの会」は権利擁護委員会として職員への啓蒙活動を中心に活動しました。

（３）居室活動

個別支援計画に添って令和３年度より工夫した外出を実施しましたが、依然コロナ禍の影響で大型商業施設などへの外出はほとんど実施できず、ドライブのみかテイクアウトでの昼食という形の活動のみとなりました。

（４）デイ（作業班）活動

４グループ（山吹班・かえで班・ひまわり班・花水木班）毎に趣向を凝らし、屋内での活動を中心とし、利用者さんが作る・関わる工程を多く取り入れた（おやつ作りや昼食会など）活動を行いました。

（５）地域生活移行のための試み

①クラブ活動

令和４年度も密をできるだけ避けるように配慮しながら、誕生会でカラオケを実施しました。
樽太鼓は叩ける支援員が増えてきているので、発表できる場を広げていきたいと考えています。

②地域生活体験ルーム（多目的棟内）

緊急短期の希望者が利用できるように準備を進めていましたが、令和４度の利用実績はありませんでした。

（３）施設環境整備

・男性棟のトイレ改修工事を実施しました。利用者さんの高齢化に伴い、車いす利用者が増えてきたため、広くて支援・介助しやすいように改修しました。

・男子洗面所、女子洗面所、ホール洗面所及びかえで班作業室に給湯設備を設置しました。手洗い、うがい、歯磨きにお湯が使えるようになったことから、丁寧に行うことができるようになり、感染症予防に効果を発揮しました。

８　補助事業の状況

令和４年度は該当事業なし

９　借入の状況

（１）独立行政法人福祉医療機構　　（最終償還日　令和５年３月 10 日）

借入金額	１２０，０００，０００　円
令和４年度返済額（利息含む）	１１，１０７，６０８　円
利息（利子補給額含む）	３１，６０８　円
利子補給額	１７，８０３　円 県（１５，８０３　円） 市（　２，０００　円）

１０　事故報告

（１）怪我の報告　２件

・利用者に押されて転倒し骨折　１件

・転倒による打撲　１件

１１　その他

（１）感染症報告

①コロナウィルス感染

令和４年９月７日に利用者１名の感染確認の第１報がありました。

その後、利用者 44 名、職員 30 名の感染を確認しました。

９月 27 日に収束した旨を千葉県・野田市・千葉県知的障害者福祉協会に報告しました。

②ノロウィルス感染

令和５年１月 14 日に職員１名の感染確認の第１報がありました。

その後、陽性者が利用者２名・職員１名の感染を確認しました。。

体調不良者(嘔吐・発熱)が利用者 29 名(男 23 名　女６名)・職員８名を確認しました。

２月 13 日に収束した旨を野田保健所に報告しました。

2、野田市相談支援事業委託業務報告書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（1）利用者の障がい種別

	合計	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他
障がい者	89	35		11				2
障がい児	34	3	1	25				4
合　　計	123	38	1	36				6

（2）支援方法

	計	電話	来所	訪問	その他
件　　数	123	76	－	47	－

（3）支援内容

内　　容	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消情緒安定	保育・教育	家族関係人間関係
件　　数	32	9	15	39	13	10
内　　容	家計・経済	生活技術	就　労	社会参加余暇活動	権利擁護	その他
件　　数	30	38	10	1	2	

3，相談支援業務の主な内容

・精神的不安からくる相談
・家族や事業所等の関係に関する相談
・申請等の手続きに関する相談・代行
・生活上の懸案事項支援

３　開所日数、定員、利用日数

ホーム名	開所日数	利用定員	延べ利用日数
芽ぐみ	３６５日	４名	７３０日
陽の芽	３６５日	４名	１，４６０日
希の芽	３６５日	７名	２，１２４日

４　職員等の人員

・管理者　　１名【常勤専従】
・サービス管理責任者　１名【常勤兼務】
・看護職員　　１名【常勤専従】
・生活支援員　　２名【常勤専従１名・常勤兼務１名】
・世話人　　２８名【非常勤専従２６名・非常勤兼務２名】

５　令和４年度の評価

令和４年９月にＧＨ【陽の芽】においてご利用者様４名のコロナ感染を確認しました。約１０日間の静養期間中は職員を専属で配置し、ご利用者様の看護にあたりました。

その結果、９月末には通常の生活に戻りました。

また、令和３年度に引き続きコロナ感染症対策による、趣味活動・散策・イベント参加・買い物外出・外食・理容等への参加・外出が制限された１年となりましたが、ご利用者様の好み等を再発見することができ、ホーム内で楽しく過ごせるような余暇活動の提供に努めました。

年度途中で女性利用者２名ずつの退所及び入所があり、令和5年4月末現在で男性１名、女性１名の空きが生じております。

平均年齢は男性４７．０歳、女性４７．８歳です。

平均障害者支援区分は４．３３と高くなりつつあります。

令和４年度　多機能型事業所　芽ばえ　事業報告

「芽ばえ」は、「自立訓練（生活訓練）事業」及び「就労継続支援Ｂ型事業」を実施する事業所として、令和元年10月１日に新規開所しました。

１　開所日数、利用定員、契約者数及び利用者数

（令和４年４月１日から令和５年３月31日まで）

事業名	開所日数	利用定員	契約者数	延べ利用者数
自立訓練（生活訓練）	243　日	6　人	5　人	1,334　人
就労継続支援Ｂ型	243　日	14　人	7　人	1,161　人
合計	486　日	20　人	12　人	2,495　日

２　一日のスケジュール

下記のスケジュールに沿い利用者の個々にあった支援を行ってまいりました。

8：00	9：15 9：30	9：30 9：45	9：45 10：45	10：45 11：00	11：00 12：00	12：00 13：00	13：00 14：00	14：00 14：15	14：15 15：30	15：30
送迎	朝礼 体操	清掃	作業	休憩	作業	昼食 休憩	散歩 作業	休憩	作業	終了 送迎

３　利用者の送迎

ご希望により、無料で送迎を行いました。送迎業務は安全・安心であることが求められています。安心して乗車していただけるよう努めた結果、１年間無事故で送迎を行うことができました。

４　支払工賃

内職作業を実施し、利用者１人当たり週５日利用している方の平均月額工賃は、6,163円でした。